

## 「1950年代教育史」研究部会（第26回）

日時：2018年6月1日（金）13:00～15:30

場所：野間教育研究所 2F 閲覧室

出席：米田俊彦・大島宏・須田将司・鳥居和代・西山伸 各兼任研究員  
吉久知延所長・金沢千秋・川上智子

内容：（1）米田俊彦研究員報告：『1958年勤務評定紛争の研究』について

- ・これまで報告してきた勤評問題について、先行研究、一次資料などまとってきたため、「1950年代教育史」研究部会の紀要の1冊として先に刊行したい（完成原稿は各研究員が検討済み）

紀要構成 はじめに

第1節 第1次愛媛勤評紛争と文部省の反応

第2節 自民党における日教組対策方針の策定

第3節 勤務評定紛争の展開

第4節 勤務評定以外の日教組対策

おわりに

- ・研究部会全体の紀要としては、勤評問題に絡めて、個別事例を研究する予定（神奈川県の場合など）

（2）須田将司研究員報告：「1950年代における教育研究所の在り方をめぐる諸相」

- ・前回の報告では全教連の動きを中心に法制化運動に至るまでの50年代前半の動きをとらえた。今回は教育研究所の在り方をめぐる議論や模索を把握すること、1950年代後半までの全体像の把握を進めること、論稿や各地の事例をみていく

1. 1960年代からの逆照射

2. ネットワークとの接続・全国的傾向

3. 各地における教育研究所の在り方論議

静岡大学 宮崎大学 他

- ・次回研究会は、2018年7月6日（金）13:30～ 大島研究員、鳥居研究員
- ・次回以降のスケジュール。8月7日（火）13:00～、9月7日（金）13:00～。